



外灯を取り外す水沢工高の生徒

## 学んだ技術 地域に役立て 水沢工高テクノボランティア

奥  
州

奥州・水沢工高(白<sup>ひ</sup>当<sup>なた</sup>仁<sup>ひろ</sup>己<sup>み</sup>校長、生徒376人)は23日、照明器具の掃除・交換を行う「テクノボランティア」を実施した。

奥州市水沢聖天の水沢地区センターの体育館で実施。同校電気科3年の5人が脚立に上り、細かい部分は歯ブラシを使いながら外灯を掃除した。蛍光灯から発光ダイオード(LED)への交換も行い、学んだ技術を使って作業した。

小野寺蓮さんは「なかなか照明を外せなかったが、なんとかできて良かった。経験を生かして、完璧にできるようにになりたい」と決意した。

同校は2002年に同ボランティアを始め、21年目。本年度は7人で活動する。新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢住宅ではなく地域の集会所を中心に、蛍光灯の取り外しや換気扇の清掃などを行う。